

おばま 市議会だより

No. 187

小浜二中 生徒会執行部の
皆さんに議場見学ツアーに
お越しいただきました

令和8年度当初予算案を可決
議場見学ツアーを開催

裏表紙に議場見学ツアーの様子を掲載しています

くまなくチェック 委員会審査



令和8年度予算の審査

人件費の増加や、公共施設等の老朽化への対応、阿納尻西小川線の整備など大型事業の本格化に加え、物価高騰対策が盛り込まれたことにより、一般会計としては過去最大の予算が提案されました。厳しい財政状況の中、適正な予算が計上されているのか、慎重に審査しました。審査の過程であった主な質疑は、次のとおりです。

■ 可決した令和8年度当初予算

会計名	令和7年度当初予算額	令和8年度当初予算額	増減率
一般会計	171億2,500万円	181億6,500万円	6.1%
特別会計	73億7,472万円	70億9,683万円	△3.8%
企業会計	48億5,694万円	54億942万円	11.4%
合計	293億5,666万円	306億7,125万円	4.5%

ふるさと納税事業

4億2028万円

説明

ふるさと納税を推進し、地域経済や地場産業の活性化を図るとともに、関係人口の拡大と安定的な財源の確保につなげようとするもの。

問

ふるさと納税の令和8年度の目標寄付額を7億5000万円としていることに関し、それを達成するための返礼品の内容等は。

答

人気が高まっている米に加え、水産加工品ではセット内容を見直したり定期便を増やしたりするなど、寄付者のさまざまなニーズに対応していく。

病児・病後児保育事業

884万5000円

説明

病児や病気回復期の児童を一時的に預かって保育を行うもの。

問

杉田玄白記念公立小浜病院内の病後児保育所「とまと」が令和8年度から休所することになった経緯は。

答

現在市内には、病後児保育所「とまと」のほかに病児・病後児保育所ハンビーナサポートがある。

これまでの利用実績を見ると、病後児保育の需要が少なく、病児・病後児を受け入れるハンビーナサポートのみで対応が可能であると判断したことから、「とまと」の休所を決定するに至った。

問

病後児保育の需要が今後高まった場合の「とまと」の再開の可能性は。

答

「とまと」の設置者である公立小浜病院組合からは、その需要が高まった場合には再開を検討するとの回答を得ており、状況の変化に応じて同組合と協議を行う。

子育て世帯訪問支援事業

12万3000円

説明

養育上の支援・保護的支援を要する児童等がいる家庭や、養育環境に困難を抱える家庭を訪問支援員が訪問して、家事や子育て等への支援を行う新たな事業。

問

相談や支援の具体的な実施方法は。

答

児童家庭支援センターの専門職である訪問支援員が相談や支援に当たることにより、各家庭の状況や課題を的確に把握する。市では、同センターから報告を受け、状況に応じてさまざまな支援につなげていく。

都市間交流・多文化共生推進事業

151万6000円

説明

友好都市である中華人民共和国の西安市と平湖水を訪問するための経費等。

問

昨今の日中関係の悪化による影響が懸念されるとともに、本市の財政状況は今後も厳しい状況が続くと見込まれる中、あえてこの時期に訪問する必要があるのか。

答

平湖水長が以前、本市に来られた際に、次回はこちらから訪問することを約束した経緯があり、礼節を保つ観点から、市長交代に伴う儀礼的な挨拶を目的に計画したものである。情勢が許す場合に限るとの前提で予算を計上しており、執行に際しては慎重に判断したい。

史跡後瀬山城跡整備事業

3288万5000円

説明

令和2年度に策定した史跡後瀬山城跡整備基本計画を基に史跡公園を整備するもので、令和8年度に山麓エリアの地形造成や雨水の排水設備などの工事に着手するもの。

問

史跡公園の整備にかかる総事業費と市の実質的な負担額は。

答

総事業費は約7億6500万円を見込んでいます。国の史跡に指定されている範囲の事業費については国から2分の1の補助を受けることができ、一方、史跡の外に当たる旧小浜小学校のグラウンド部分は補助の対象にならないため、他の補助金の活用を模索している。現時点では、総事業費の約半額を国と県の補助金で賄い、地方債として3億2000万円程度借り入れる予定をしている。そうした場合、市の負担は5400万円ほどになると見込んでいます。

問

本事業と近い位置にある小浜公園でも、別の事業においてリニューアルに向けた整備が進められていることについて、双方の事業の関連性等は。

答

二つの公園の整備はいずれも、小浜西組エリアの面的整備の一環として進めている。一方で、整備の目的はそれぞれ異なっており、本事業は国の史跡である後瀬山城跡の遺構を後世に継承するために整備するものである。

下水道事業会計

下水道使用料(収益的収入)

7億2715万4000円

問

農業集落排水の料金体系が人員割りとなっている点について、公共下水道と農業集落排水で採用している従量制に移行できない理由は。

答

集合処理方式による事業として、市内を公共下水道と農業集落排水、漁業集落排水の三つの処理区域に分け、並行して整備した経緯がある。その際、それぞれの事業の形態や、集落排水処理施設ごとに要した建設費等を基に使用料を算定したため、料金体系や金額が異なっている。加えて、施設建設当初の借入金償還がまだ終わらないことが、料金体系や金額を容易に統一できない一因となっている。その一方で、令和6年度に三つの事業を一つの企業会計に統合し、一体的な経営を進めている。使用料についても、その適正化を図る中で段階的な統一を検討する必要があると考えている。

条例の審査

小浜市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

説明

令和8年度から実施する特定乳児等通園支援事業、いわゆる「こども誰でも通園制度」の運営に関する基準を定める条例を制定するもの。



問

「子ども誰でも通園制度」の実施体制は。

答

この制度は生後6か月から2歳までの保育園等に通っていない子どもが保育園等を時間単位で利用できるもので、令和8年度は〇名田保育園で実施する。定員は1日につき1人で、利用可能時間については、1人当たりの上限を1か月につき10時間とする国の方針を受けて、「午前9時から11時までの2時間」に設定する予定である。

小浜市企業振興条例の一部改正について

説明

小浜市の地域経済を活性化することを目的に、企業振興助成金の交付対象とする企業について、これまで製造業を中心としていた業種に、新たに企業の本社機能や、物流関連産業・宿泊業などを加えるもの。

問

助成金の交付を受ける企業の事業の実態を確認する方法は。

答

交付申請内容の審査時には、事業計画について慎重に審査を実施しているが、今後は金融機関にも事業計画を確認いただくことを検討している。また、交付の要件としている新規雇用人数については、雇用保険への加入状況を確認し、交付から3年間にわたって追跡調査を実施する。

問

助成金交付先の企業が事業を早期に廃止した場合の対応は。

答

交付から10年が経過するまでに事業を廃止した企業には、その経過期間を基に算出した額の助成金の返還を求める。

請願の審査

小浜市子ども医療費完全無償化の請願について

説明

小学生以上の子どもの通院時に必要な1医療機関当たり月額上限500円の自己負担金を撤廃することを求める請願。

趣旨採択とすべきとする主な意見

「自己負担金の撤廃には現行の医療費助成システムの改修が必要。令和9年11月に予定している標準化システムへの移行前に医療費助成システムを改修した場合、移行後に再度の改修が必要になり、約500万円もの費用が余計にかかると見込まれている。自己負担金を撤廃することが望ましいが、標準化システムへの移行前に行うのは適当ではない」

「請願の趣旨は理解するが、自己負担金を撤廃する時期は、市の財政状況を考慮して執行機関が判断すべきである」

小浜市小児インフルエンザ予防接種助成の請願について

説明

子どもへのインフルエンザ予防接種について、嶺南地域では4町で接種費用の一部助成が実施されていることを踏まえ、4町と同程度の助成を求める請願。

主な反対意見

「福井市・鯖江市・越前市等は、助成を実施していない。そうした中、新たな財政負担を生じさせてまで助成を実施することには賛成できない」

趣旨採択とすべきとする主な意見

「予防接種にかかる自己負担額の近隣の町との格差は解消すべきではあるが、助成の実施には多額の経費が必要になることが懸念される」
「請願の趣旨は十分に理解できるが、助成の実現可能性、助成する場合の対象者や助成金額等は、市の財政状況を考慮して執行機関が判断すべきである」



なるほど 議会のコトバ

●趣旨採択

趣旨採択とは、請願について願意は妥当であるが、財政的事情などにより実現性の面で採択することが難しい場合に採られる決定方法をいいます。

3月補正予算の審査

NHK受信料等の支払いや山川登美子記念館の修繕に要する費用、物価高騰対策非課税世帯支援事業などが盛り込まれた3月補正予算案を可決しました。
審査の過程であった主な質疑は、次のとおりです。

■ 可決した令和7年度3月補正予算

会計名	既決予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	187億 2,849万円	5億 7,234万円	193億 83万円
特別会計	74億 1,428万円	△ 8,535万円	73億 2,893万円
企業会計	48億 7,001万円	△ 2億 8,980万円	45億 8,020万円
合計	310億 1,277万円	1億 9,719万円	312億 997万円

端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

コミュニティセンター運営管理費

478万7000円

説明

コミュニティセンターに設置されたテレビのうち、NHKと受信契約を結んでいなかった機器の受信料等の支払いに要する費用を追加するもの。

問

受信契約漏れや不要な支払いを防ぐための体制整備は。

答

今後庁内でマニュアルを作成し、適正な台数のテレビを適切に管理することができるよう努める。

問

テレビの撤去にかかる費用も計上されていることに関し、市の指定避難所でもあるコミュニティセンターのテレビ設置台数は適正か。

答

災害時の情報収集のために必要な台数を精査し、不要なテレビを撤去する予定である。

山川登美子記念館運営事業

308万円

説明

国の登録有形文化財である山川登美子記念館の母屋と蔵の2棟においてシロアリ被害による損傷

が判明したことに伴い、シロアリの駆除および蔵の修繕に要する費用を追加するもの。

問

国の登録有形文化財を修繕する際の制約とシロアリ被害の再発防止策は。

答

国の登録有形文化財の建物のうち、外観については原状に戻すことが原則となっているため、当該箇所の修繕には現状と同じ材料を使用することを前提としている。今回のシロアリ駆除では5年保証の提供を受ける予定であり、その後の予防策については専門業者と相談した上で検討する。

問

入館者が比較的多く見込まれる4月から3か月間休館して修繕等を実施する点について、修繕の緊急性および実施時期の妥当性は。

答

蔵の2階の梁のシロアリ被害が昨年12月に判明した。専門業者や建築士の資格を持つ職員らによる状況確認の結果、雪の重みによる影響も懸念されるため、早急に修繕すべきとの助言を受けた。加えて、蔵の修繕後に、調査が済んでいない母屋についても詳しく調べる必要があることから、3か月間休館してでも、急ぎ修繕を完了させたいと考えている。



修繕を実施する山川登美子記念館

市政を問う！一般質問

令和8年第1回(3月)小浜市議会定例会

氏名	質問項目	氏名	質問項目
上野 一	1.老人クラブの課題に対する支援について	武長 由里子	1.企業誘致について 2.福祉避難所について
牧岡 輝雄	1.JR小浜線の維持・活性化について 2.都市再生整備計画について 3.令和8年度重点要望について	世戸 玉枝	1.循環型社会の推進について
池田 英之	1.人口減少を見据えたまちづくりについて 2.御食国ブランドと食の基盤強化について	小澤 長純	1.介護の今後について 2.学校給食無償化について
藤田 靖人	1.北陸新幹線について 2.公共施設と行政効率化について	東野 浩和	1.重層的支援体制整備事業について
		下中 雅之	1.小浜市の財政について

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

老人クラブの課題に対する支援！

問 「シニア世代が潤う」と公約に掲げる市長が考える高齢者支援や方向性について伺う。

答 心身ともに豊かさを実感しながら生活できる環境を整えていく。健康面では、健康寿命の延伸が生活の質を高める重要な基盤であると捉えており、高齢者自身と地域の健康につながる取り組みを進める。老人クラブの皆さまが日頃から取り組まれている活動は、本市の施策の方向性と合致するものであるとともに、地域に根ざした自主的な活動は、世代を超えてお互いに支え合う豊かな地域を形成する上で大変重要と捉えている。



問 老人福祉法第13条第2項に、「地方公共団体は、老人の福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他当該事業を行う者に対して、適当な援助をするように努めなければならない」と位置づけられているが、「コミュニティセンターの協力的体制について伺う。(支援体制等の整備)」

答 老人クラブが抱えている書類作成などの事務的な負担は承知している。特定の団体の事務作業をコミュニティセンター職員が請け負うことが難しいことはご理解いただきたいが、可能な範囲でアドバイス等支援をする。補助金申請や実績報告など、市への提出書類については各所管課でも書類作成等のサポートをしている。



うえの はじめ
上野 一



都市再生整備計画について

問 商店街のアーケードは老朽化により雨漏りやさびが発生しており、安全面の課題が指摘されている。通学路としての安全確保の観点からも、将来に向けた検討が必要ではないか。

答 アーケードについては、老朽化対策にとどまらず、新たな歩行者空間への転換や沿道の景観形成など、まちなかのにぎわい創出につながる空間づくりも視野に入れながら、市民・事業者・行政が一体となって、将来像の構築に向けた研究に取り組んでいく必要があると考えている。

問 都市再生整備計画事業(小浜おもてなし地区)の事業範囲は。

答 JR小浜駅以北の市街地を中心とする約180ヘクタールで、都市機能誘導区域および居住誘導区域に位置する。市役所や文化会館、まちの駅旭座、小浜西組など、観光拠点や歴史資源が集積する地域である。

問 小浜駅から、まちの駅や小浜西組への観光誘客が図られている一方、はまかぜ通り商店街ではシャッターを閉めた店舗が多く見られる。日常的な活性化について市の考えは。

答 同商店街は「都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」において重要拠点に位置づけられている。小浜西組エリアとの面的なにぎわい創出に向け、空き店舗を活用した創業支援を行っている。さらに今年度からは、中小企業基盤整備機構の支援を受け、「住みやすさ」と「賑わい」をテーマに商店街の新たな活性化策について議論を進めている。



まきおか てるお
牧岡 輝雄



御食国ブランドの根幹は一次産業の振興



いけだ ひてゆき
池田 英之



問 生産年齢人口の推移は。

答 1980年の2万1991人に対して、2020年は1万5326人と、6665人減少。

問 労働力確保に向けた取り組みは。

答 本市の産業を学ぶ「小浜産業キャンプ」を開催する。県営産業団地への企業誘致を見据え、「小浜市企業振興条例」を一部改正して人材確保に取り組む。

問 本市の高齢化集落、準高齢化集落の状況は。

答 65歳以上の人口が50%以上を占める高齢化集落は14区で9.45%、55歳以上の人口が50%以上を占める準高齢化集落は76区で51.35%。

問 庁内での取り組み体制は。

答 施策ごとに数値目標を設定し、総合戦略有識者会議で進捗管理と効果検証を行う。

問 農業、水産業の課題と解決策は。

答 高齢化や担い手不足による就業人数の減少が課題。有機農業の取り組みと「ぶくい水産カレッジ」への入校支援で担い手を確保していく。

問 ブランド価値を高める方策、情報発信は。

答 観光サイト「まるっとおばま」のリニューアルの他、メディア戦略官を設置して情報発信を強化する。4月からの地上波ドラマの関連情報も増やしていく。

問 御食国の根幹である一次産業の振興について、市長の意気込みを伺う。

答 一次産業の振興は、一次、二次産業の発展にもつながり非常に重要。良いものを作るだけでなく、情報発信により需要を喚起していく。

北陸新幹線と行政施設の効率化



ふじた やすひと
藤田 靖人



問 衆議院選挙後の政府、与党の体制から見て今年重要な年と考えるが、これからの北陸新幹線小浜・京都ルート早期着工への要望活動について伺う。

答 「若狭の未来を実現する会」が、昨年から実施している「小浜・京都ルート」早期実現の署名活動において、これまでに県内外からいただいている、内閣総理大臣に宛てた4万筆以上の署名を政府・与党に届ける意向をお聞きしていることから、今後、準備を進めたいと考えている。

問 公共施設総合管理計画では本市が保有する建築物の総延床面積は市民一人当たり換算すると5.61平方メートルで全国平均の3.22平方メートルと比較するとかなり高い数字となつているが、公共施設の管理について今後の方針を伺う。

答 「小浜市公共施設等総合管理計画」および「小浜市公共施設個別施設計画」に基づき、公有財産の長期的な視点に立った適正管理を実施しており、建て替えや新設が必要となる場合は、集約化、複合化、広域化により、施設の適正配置を図っていく。不用となった財産の処分にも継続して取り組んでいき、将来的な財政負担を軽減する。人口減少社会が進展し、社会経済情勢が変化する中、引き続き、市の財政状況や市民ニーズを十分に踏まえながら、公有財産の適正管理と計画的な処分を着実に進めていきたいと考えている。

企業誘致の推進／福祉避難所の増設を！



たけむら ゆりこ
武長 由里子



問 県営産業団地整備における福井県と小浜市の役割分担は。

答 県は計画の策定や総合調整、産業団地の整備を、本市は地権者との用地交渉や産業団地までの上下水道のインフラ整備、産業団地整備後の公共施設の維持管理のほか、事業費の3分の1の費用を負担する。

問 市全体としてどのような企業誘致を目指すのか、その方向性は。

答 市の北部地域は宿泊施設や陸上養殖、水産研究関連施設を、市街地周辺は宿泊施設、飲食店や土産物店等を、西部地域は植物工場や陸上養殖、物流産業を、東部地域は本市の基盤産業や研究施設の誘致を目指す。

問 福祉避難所とは。

答 バリアフリー化されたフロアや多目的トイレ等があり、高齢者や障がい者、妊産婦、乳幼児などの要配慮者が利用しやすい施設で、必要な相談や支援が受けられ、家族や支援者と避難生活を送ることが出来る避難所である。

問 「一般の指定避難所」に行くべきか、「福祉避難所」に行くべきかを判断するのは誰か。

答 市の保健師で構成する「救護班」が、本人の健康状態の確認を行う「スクリーニング」により、緊急度・重症度の判定を行い、対象者を決定する。

問 指定避難所で医療的ケアを必要とする方についての対応は。

答 早期に消防・医療機関、県と連携し必要な診療を受けられるよう調整する。

大型ごみ焼却炉でCO₂削減はどうなる



せと たま え
世戸 玉枝



問 2022年、国はプラスチック資源循環促進法を制定し、自治体に対してプラスチックの焼却削減等を求めた。若狭クリーンセンターが完成間近の時期のことである。しかし、大金をかけて建てた若狭クリーンセンターを使わないわけにいかない。ごみの減量をして、CO₂の排出を可能な限り抑制する必要がある。小浜市は、ごみの減量についてどのような取り組みをしているか。

答 行政は3Rの推進、ごみ分別ルールの周知等に努めている。市民はマイバッグやマイボトルの持参によるごみの抑制に協力していただいている。事業所には、ごみ減量になるような製品の開発や、できる限り再生利用することなどに努めてもらっている。

問 焼却灰について、どのように処分されているか。

答 年間1000トンの焼却灰をリサイクルプラザの屋根付き処分場に搬入し生物処理や化学処理を行い、適正に埋め立て処分している。

問 広域ごみ焼却施設になってから、家庭から出る持ち込みごみが有料になったが、なぜ有料になったのか。

答 ごみの有料化は、ごみの抑制と再生利用に有効である。旧フリンセンターでは家庭の持ち込みごみは1回50キロまで無料だったが、4市町統一ルールとして有料化した。家庭系ごみは令和4年度1360トンだったのが、令和6年度は700トンまで半減している。

超高齢化社会に向け、介護体制の充実を！



おざわ なが すみ
小澤 長純



問 全国では介護事業所の倒産・休廃業が増えているが、市内の介護事業所の運営状況は。

答 直近5年間で3軒の事業所がサービスを廃止した一方、2軒が新たにサービスを開始しており、大きな変動なく介護サービスの提供が行われているものと考えている。

問 介護施設に入ろうとすると、幾つもの施設に入所希望を出し、空くのを長期間待たなければならぬ状態が続いている。施設の数に足りないのではないのか。

答 国は「地域包括ケアシステム」の構築を中心とした在宅サービスの充実を推進している。本市においても在宅サービスの充実に努めているところであり、今後も、必要な施設サービスを維持しながら、全体としての需給バランスを保っていきたいと考えている。

問 介護事業所においても、慢性的な人手不足が続いているが、その主な要因は何か。

答 介護の現場は高い専門性を持つ有資格者の配置が必須となっており、そうした専門職は絶対数が限られている。加えて、介護職は労働条件が厳しい上に待遇が低いイメージが根深く、キャリアアップの道が見えにくい構造にあり、人材の確保がより一層困難になっているものと考えている。

問 介護職員等処遇改善加算の状況は。

答 本制度を活用されている事業者においては、職員に対して適切に加算分が還元されていると認識している。

◆ 議会活動日誌 ◆

◆ 1月

- 5 (月) 公立小浜病院開設記念式典
- 6 (火) 全員協議会、広報委員会
- 9 (金) 議会運営委員会
- 10 (土) 消防出初式
- 11 (日) 小浜市はたちのつどい2026
- 14 (水) 小浜市スポーツ協会新年会
- 15 (木) 議会運営委員会管外行政視察(島根県浜田市)
- 16 (金) 若狭交通安全折願式、若狭塗箸協同組合新年会
- 19 (月) 福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市)
- 20 (火) 議会運営委員会
- 21 (水) 小浜商工会議所新春議員懇親会
- 26 (月) 総務民生常任委員会、産業教育常任委員会、福井県市議会議長会定期総会(鯖江市)
- 28 (水) 嶺南広域行政組合議会代表者会議(美浜町)
- 29 (木) 議会運営委員会、議会報告会連絡会、小浜市福祉協議会「新年のつどい」
- 31 (土) 小浜市遺族会新年会

◆ 2月

- 5 (木) 全員協議会、コンプライアンス等に関する議員研修会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会
- 6 (金) 議会運営委員会
- 7 (土) 文化財防火デーに伴う防火訓練
- 10 (火) 全員協議会、公立小浜病院組合議会運営会議
- 12 (木) 全国市議会議長会建設運輸委員会(東京都内)
- 13 (金) 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会(福井市)
- 16 (月) 若狭消防組合議会定例会
- 17 (火) 令和8年第1回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会
- 18 (水) 公立小浜病院組合議会3月議会
- 19 (木) 令和8年第1回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会

重層的支援体制整備事業の継続性を問う



ひがしの 東野 浩和



問 重層的支援体制整備事業の概要は。

答 近年、介護・障がい・子育て・生活困窮など、複数の課題を重複して抱えるケースが増えている。このような背景から、国は各自治体が生活課題の属性を問わない包括的な支援体制を構築できるよう、創設した事業であり、「属性を問わない相談支援」「多様な社会参加支援」「地域づくりに向けた支援」の三つの取り組みを一体的に実施する。

問 体制整備および支援状況は。

答 健康管理センターに「生活の困りごと何でも相談窓口」を設け、3層の会議体を運営し、対応に当たっている。相談内容について、複数の課題が重なっている場合や単独の機関では支援が難しい場合には、「個別のケース会議」を開き、関係機関と連携して本人と家族を一体的に支援している。

問 国の事業見直しによる、交付金削減方針について、本市への影響は。

答 本市については、現時点で交付基準額見直しに伴う大きな影響はなく、また、直ちに補助割合が引き下げられるものではないが、今後の国の動向を注視していきたい。

問 今後の事業の取り組みについての考えは。

答 本市では、「制度や分野ごとの縦割りや支え手、受け手という関係を超えて、一人一人が生きがいや役割を持って、助け合いながら活躍できる地域づくり」を目指している中、重層的支援体制整備事業は、包括的な支援を行うために重要な事業と認識している。

今後の財政運営をどのように考えるのか



したなか まさゆき 下中 雅之



問 小浜市の財政状況について伺う。

答 歳入面では、根幹的な財源である市税や地方交付税の大幅な増収が見込めず、全体として先行き不透明な状況である。一方、歳出面では、人事院勧告や定年延長等による人件費の増や、少子高齢化による社会保障の増、公共施設やインフラ施設等の老朽化・長寿命化への対応、広域ごみ処理施設の整備に伴う費用負担が続くなど、多くの財政需要が見込まれる。また、物価高騰や賃上げ等による事業変動や金利上昇による利払い増加の懸念など、複数の課題が重なり、大変厳しい財政状況に直面している。

問 毎年決まって入ってくる一般財源に対して、決まって支払わなければならない歳出の割合を示す経常収支比率について伺う。

答 小浜市の令和6年度決算における経常収支比率は、99.5%と極めて高い。この状況は小浜市の毎年の収入は経常的な経費でほぼ全額を使い果たし、独自の施策に使える余裕がないことを示しており、決して良い状況とは言えない。

問 小浜市の令和8年度における財政の見込みは、これまで以上に厳しいとのことであるが、今後の財政運営について伺う。

答 「稼ぐ、活かす、育む」の好循環を軸に税収や投資の呼び込みによる歳入の確保の他、選択と集中による歳出の抑制に努め、持続可能な財政運営を図り、「みんなが潤う新しい小浜」を実現してまいりたい。

議会の個人情報保護条例の施行状況を公表します

令和7年度における開示請求、訂正請求および利用停止請求はありませんでした。個人情報等の取扱いに関する苦情もありませんでした。

31	(火)	広報委員会
30	(月)	若狭消防組合議会定例会
27	(金)	原子力発電小浜市環境安全対策協議会、公立小浜病院組合議会3月議会
26	(木)	嶺南広域行政事務組合議会(敦賀市)
25	(水)	若狭広域行政事務組合議会(若狭町)
24	(火)	議会運営委員会、全員協議会、令和8年第1回小浜市議会定例会、政策討論会
22	(日)	青井会館落成記念式典
19	(木)	北陸新幹線早期全線開業特別委員会研修会
18	(水)	予算決算常任委員会、議会報告会連絡会
17	(火)	全員協議会、令和8年第1回小浜市議会定例会、総務民生常任委員会
16	(月)	令和8年第1回小浜市議会定例会、議会運営委員会
12	(木)	お水取り親善訪問(奈良市)〔13日〕
10	(火)	議会運営委員会
9	(月)	若狭広域行政事務組合議会代表者会議(若狭町)
4	(水)	広報委員会、公立小浜病院組合議会常任委員会
3	(火)	議会運営委員会
2	(月)	奈良市お水送り親善使節団歓迎会
◆	3月	
26	(木)	総務民生常任委員会・分科会
25	(水)	総務民生常任委員会・分科会
24	(火)	産業教育常任委員会・分科会
20	(金)	産業教育常任委員会・分科会

令和8年第1回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名	
報告	第6次小浜市総合計画基本計画の改定について	条例	小浜市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	
予算	専決処分につき承認を求めることについて(令和7年度小浜市一般会計補正予算(第6号))		小浜市交通安全対策協議会設置条例の廃止について	
	令和7年度小浜市一般会計補正予算(第7号)		小浜市保育所設置および管理に関する条例の一部改正について(特別多数議決)	
	令和7年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)		小浜市児童館設置条例の一部改正について	
	令和7年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)		小浜市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
	令和7年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		小浜市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	
	令和7年度小浜市産業団地整備事業特別会計補正予算(第2号)		小浜市企業振興条例の一部改正について	
	令和7年度加斗財産区運営事業特別会計補正予算(第1号)		小浜市営公園の設置および管理に関する条例の一部改正について	
	令和7年度小浜市水道事業会計補正予算(第3号)		小浜市学校給食費に関する条例の制定について	
	令和7年度小浜市下水道事業会計補正予算(第4号)		小浜市営体育施設の設置および管理条例の一部改正について	
	令和8年度小浜市一般会計予算		小浜市介護保険条例の一部改正について	
	令和8年度小浜市後期高齢者医療特別会計予算		その他	若狭広域行政事務組合規約の変更について
	令和8年度小浜市介護保険事業特別会計予算		小浜市と若狭町との廃棄物(し尿)の処理に関する事務の事務委託に関する規約の変更について	
	令和8年度小浜市産業団地整備事業特別会計予算	人事	加斗財産区管理委員の選任について(吉村貞樹さん)	
	令和8年度加斗財産区運営事業特別会計予算		人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(大同博司さん)	
	令和8年度小浜市水道事業会計予算		人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(中村美樹さん)	
令和8年度小浜市下水道事業会計予算	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(車田民江さん)			

賛否が分かれた議案

○=賛成 ×=反対

項目	件名	採決結果	浦谷梨華子	佐野達也	上野一	世戸玉枝	武長由里子	東野浩和	川代雅和	岡泰宏	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	池田英之	小澤長純	今井伸治	下中雅之	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対	
予算	令和8年度小浜市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1
条例	小浜市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1

※竹本雅之議員は議長のため、採決には加わっていません

趣旨採択とした請願

○=趣旨採択とすることに賛成 ×=趣旨採択とすることに反対

項目	件名	採決結果	浦谷梨華子	佐野達也	上野一	世戸玉枝	武長由里子	東野浩和	川代雅和	岡泰宏	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	池田英之	小澤長純	今井伸治	下中雅之	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対	
請願	小浜市子ども医療費完全無償化の請願について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
	小浜市小児インフルエンザ予防接種助成の請願について	趣旨採択	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	2

※竹本雅之議員は議長のため、採決には加わっていません



お子さまと一緒に 傍聴にお越しください

ベビールーム・キッズスペース
を設置しました

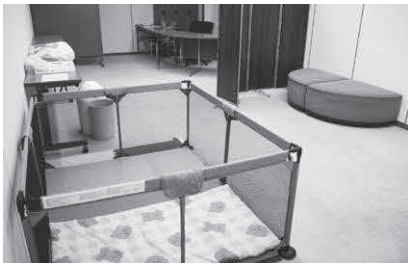


市議会では、ベビールームとキッズスペースを新たに設けました。

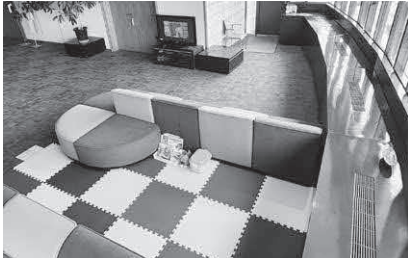
これは、「市民と共に歩む 開かれた議会」の実現に向けた取り組みの一環として、お子さま連れでも安心して議会を傍聴していただける環境をつくり、子育て世代にも議会を身近に感じてもらうよう設置したものです。

ベビールームでは、授乳やおむつ替えなどを行っていただくことができます。

また、キッズスペースでは、議場や会議室内でのやりとりをテレビで視聴することができ、市街地と小浜湾を一望することもできます。傍聴席でお子さまが泣いたりぐずったりしても、テレビで傍聴を続けることができます。お子さま連れの方はもちろん、傍聴席で気分が悪くなった場合等の休憩場所としてもご利用いただけます。



ベビールームは施設が可能です



キッズスペースでは中継を見ながら休憩できます

議員研修会を開催しました

日時：令和8年2月5日（木）
テーマ：議員のコンプライアンスと政務活動費の適正な運用について

講師：内田 一夫氏

（公益社団法人日本速記協会理事）

議員のコンプライアンス（法令順守）に関する意識の向上を図るとともに、議会運営委員会を取り組んでいる政務活動費に関するガイドラインの見直しに役立てようと企画し、全議員が参加しました。



講師の説明に耳を傾ける議員

議会の制度や運営のほか、政務活動費の実務に精通する専門家を講師に招き、政務活動費の実務、ハラスメントの防止などの説明を受けました。

議員は、政務活動について、主に次のことへの理解を深めました。

○政務活動とは議会活動の前提となる活動であること。

○議員が政務活動費を有効に活用することによって、小浜市や市民の生活が良くなっていくこと。議員の政務活動の成果が小浜市に還元されること。が目的であること。

○議員の活動は多面性がある中、政務活動費をどのような経費に充てるのかは議員が判断し、説明責任を負う。その使い道について市民から誤解されないためにどうするかを考える必要があること。

市議会では今後も機会を捉えて研修を行い、議員の資質向上を図ってまいります。

編集後記

春らんまんの好季節となり、学校や職場では新入学・新社会人の皆さんが新たな一歩を踏み出しました。小浜市でも、令和8年度がスタートし、地域の活力向上や暮らしの安心に向けた施策が動き始めています。

市議会では、市民生活に深く関わる重要な案件について、慎重かつ丁寧に審議を重ねています。こうした議会の議論や審議内容を、市民の皆さまに分かりやすくお伝えできるよう、市議会だよりの紙面づくりに努めてまいります。

今後ともご意見・ご要望などがございましたら、お寄せいただけますようお願い申し上げます。

広報委員会委員 武長由里子

議会を傍聴しませんか？ ～6月定例会の予定～

以下の会議は傍聴することができます。

傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に必ず、市役所5階の議会事務局で受付をお願いします。会議の途中でも入退室できますので、ご都合の良い時間に、ぜひお越しください。

- 6月 5日（金）本会議・予算決算常任委員会
- 10日（水）産業教育常任委員会・分科会調査
- 11日（木）総務民生常任委員会・分科会調査
- 22日（月）本会議（一般質問）
- 23日（火） //
- 24日（水）予算決算常任委員会
- 29日（月）本会議

◎開始時刻はいずれの会議も10:00を予定しています。

※状況に応じて、変更が生じる場合があります

中学生が「市議会議員」を体験

～小浜二中生が議場見学ツアーに参加しました～

2月13日(金)に、初めての試みとなる議場見学ツアーを開催しました。

小浜第二中学校の生徒会執行部の生徒8人と教員1人が市役所5階の議会フロアを訪問。副議長から議会の仕組みを学んだほか、市議会クイズや正副議長室・全員協議会室の見学など、盛りだくさんの内容で議会を体感しました。

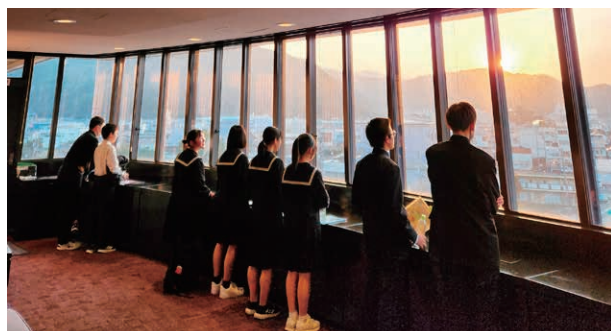
最後は議長席に座って記念撮影も行い、つかの間の「市議会議員」を体験しました。



市議会クイズにチャレンジ!



歴代市議会議員の写真に見入る参加者



きれいな夕焼けを望むことができました

～参加された皆さんの感想～

- なかなか入ることのできない議場や会議室に入ったり議長席に座ったりして、貴重な体験をすることができました
- 政治にはあまり興味がありませんでしたが、ツアーを通して議員の気持ちを少し味わうことができました
- いろいろな体験ができて、とても楽しかったです。これから、市のためにできることを自分で少しでも考えて生活していきたいと思います
- 市議会クイズは難しかったけれど、知らないことをたくさん知ることができました
- 今までよりも市議会に興味を持ちました

議場見学ツアーの参加者を随時募集しています
詳細はこちらから▶



●ホームページをご覧ください

議会で審査する議案や採決結果、次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後2週間程度で視聴できます)など、さまざまな情報を発信しています。

